

## 第5回 PCV漏えい試験検討会 議事録

1.開催日時 平成15年7月31日(木) 13:30~16:15

2.場 所 (社)電気倶楽部 第3会議室

3.参加者

委員：大野副主査(東京電力),小林(核燃料サイクル開発機構),小谷地(発電設備技術協会),桑原(三菱重工業),久米(日立),味森(東芝),笠(九州電力),最所(北陸電力),玉井(北海道電力),竹内(日本原電)波多野(中部電力) (計11名)

委員代理者：熊倉(電源開発・鞍本代理),小林(中国電力・小川代理),遠藤(東北電力・河上代理) (計3名)

委員欠席者：古泉(四国電力) (計1名)

常時参加者：松枝・森本・西住(関西電力),斉藤(経済産業省 原子力安全・保安院) (計4名)

オブザーバ：大石(東京電力) (計1名)

事務局：上山(日本電気協会)

4.配付資料

資料 No.5-1 第4回 PCV 漏えい試験検討会議事録(案)

資料 No.5-2 原子炉格納容器漏えい試験規程(JEAC4203-1994)の改定について

資料 No.5-3 原子炉格納容器漏えい試験規程(JEAC4203-1994)改定案(本文)

資料 No.5-4 原子炉格納容器漏えい試験規程(JEAC4203-1994)改定案(比較表)

資料 No.5-5 原子炉格納容器漏えい試験規程(JEAC4203)改定案に関するコメント  
対応一覧表

資料 No.5-6 JEAC4203 改定にかかるスケジュール(案)

参考資料-1 原子力規格委員会 規約及び運営細則の改定について

5.議事内容

(1)委員定足数の確認

事務局より、委員総数15名に対して本日の出席委員数は14名で、「委員総数の3分の2以上の出席」という会議開催定足数の条件を満たしていることの報告があった。

( 2 ) 検討会委員変更の手続き・承認について

事務局より新任委員候補について、今後の手続き紹介があり、次回開催の構造分科会において承認がなされる旨の報告があった。

新任委員候補者

松枝氏（関西電力・原子力事業本部）、斉藤氏（経済産業省 原子力安全・保安院）

( 3 ) 前回議事録（案）の確認

資料 No.5-1 に基づき、事務局より前回議事録（案）の紹介があり、特にコメントなく了承された。

**( 4 ) JEAC4203 規程改定案の状況報告**

資料 No.5-2, No.5-3, No.5-5 No.5-6 に基づき、森本氏（常時参加者）より題記について、主に前回検討会以降の 改定案内容の纏め コメントに対する反映内容 今後のスケジュール等が紹介された。改定案に関する主な質疑は、以下のとおり。

C. 2.4.2 試験前の必要条件(2)項及び解説 2-5 の**自動隔離弁以外の「弁の増し締め」**について。

（原子力安全・保安院としては、）昇圧を開始した時点を試験開始と見なしているため、昇圧時におけるグランド部・フランジ部の増し締め及び手動弁の増し締めについては、許容しかねるものと考えている。

A. 弁グランド・フランジ部においては、格納容器漏えい率試験時に圧力がかかり、このタイミングでメンテナンスの一環としてこれら部位からの漏えいの有無を確認していること、また手動弁についてはラインナップの一環として漏えいの有無を確認していることから、昇圧時におけるグランド部・フランジ部の増し締め及び手動弁の増し締めについては補修に該当しないと考えている。なお、電気事業者としては、原子炉格納容器設計用の想定事象発生時においても極力漏えい量を少なくすることを目指していることから、前述の考え方にに基づき漏えい率試験を実施していきたいと考えている。

Q. 塩化リチウム露点計のように劣化の早い計量器については、校正の有効期間中における計量器の管理方法を記載できないのか。

A. 本指摘事項は、原子力発電所の品質保証における計量器管理に該当しており、本規程の要求事項としては、2.3 計器において、校正された計器を使用することと記載している。

C. 1.4 用語の定義の説明文に、 圧力等の名称とその略記号が使用されているが、用語の定義編では、名称のみでよい。略記号は、式が記載されている個所で説明されるべきではないか。

A. 拝承。

C. 2.4.5 不適合時の措置 C)項において、補修を行った当該部の局部漏えい率のみで合否が判断できる記載となっているため、適切な表現に修正すべき。

A. 拝承。

**以上の議論を踏まえ、「JEAC4203-1994 原子炉格納容器漏えい率試験規程」改定案を次回構造分科会に上程することを審議した結果、全員賛成で決議された。**

(5) その他

参考資料-1 に基づき、事務局より「原子力規格委員会 規約改正」の紹介があった。次回検討会は、次回構造分科会の審議を踏まえて開催予定。

以 上